

Injury Alert (傷害速報)類似事例

新しいタイプの洗剤（1回分パックタイプ洗濯用液体洗剤）の誤飲による中毒（No.50 新しいタイプの洗剤（1回分パックタイプ洗濯用液体洗剤）の誤飲による中毒の類似事例1）

事例	年齢：2歳3か月 性別：男児 体重：11.2kg	
傷害の種類	誤飲	
原因対象物	1回分パックタイプ洗濯用液体洗剤	
臨床診断名	異物誤飲	
発生状況	発生場所	自宅の洗面所
	周囲の人・状況	口に入れているのを祖母が確認した。
	発生年月日・時刻	2015年2月16日 午後8時45分頃
	発生時の詳しい様子と経緯	1回分パックタイプ洗濯用液体洗剤を口に入れていたのを祖母が発見した。父親は仕事で不在、母も周囲にはいなかった。 その後1回嘔吐したため午後9時20分頃に救急車を要請し、救急外来に搬送となった。この液体洗剤は、ロックされたケースの中に入っていたが、自分で開けて取り出したと思われる。洗剤は眼にはかかっておらず、咳込みもみられない。持参された液体洗剤の中身は一部であり、1/4程度残存していた。
治療経過と予後	受診時所見は酸素飽和度：100%、心拍数：120回/分、体温36℃。 活気良好、顔色良好、四肢冷感はみられない。心音に不整なく、呼吸音も左右差なく清、肝脾腫なく、眼や口を痛がる様子はない。神経学的異常も認めなかった。眼の周囲および口腔内にジェルボール残液は確認できず、観察室で観察の後、帰宅した。 2015年2月17日午前11時20分頃に電話で状況を確認したところ、全く症状なく活気良好とのことであった。 なお本事例を販売元に報告し、その後複数回のやり取りをした。販売元からの回答は、「現時点では剤型・収納容器を変更する予定はない。手が届かなければ事故は考えにくい為、これまで同様こどもの手の届かない所において管理するというをお願いすることを周知徹底、啓発していく。また同時に、誤飲事故の発生状況の分析を通じて、製品およびケースの改良等の可能性を含めた対応を検討していく。」とのことであった。	